

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成 30 年 09 月 28 日

シナノン健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	25055
組合名称	シナネン健康保険組合
形態	単一
業種	卸売業

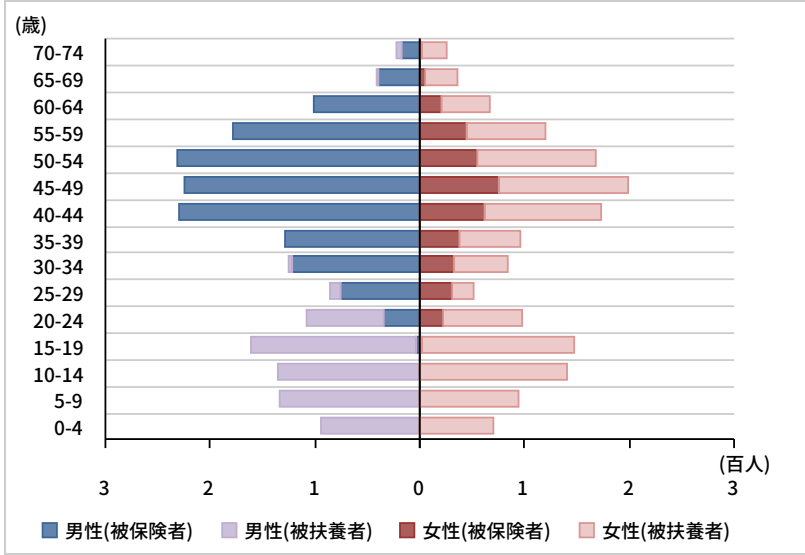
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	1,770名 男性78.4% (平均年齢45.9歳) * 女性21.6% (平均年齢43.7歳) *	1,645名 男性76.5% (平均年齢46.1歳) * 女性23.5% (平均年齢42.8歳) *	1,654名 男性75.3% (平均年齢47.1歳) * 女性24.7% (平均年齢43.0歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	0名
加入者数	3,567名	3,208名	3,115名
適用事業所数	21カ所	19カ所	18カ所
対象となる拠点数	213カ所	202カ所	202カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	105%o	105%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	0	0
	保健師等	0	0	0	0	0	0
事業主	産業医	0	2	0	2	0	3
	保健師等	1	2	1	2	1	0

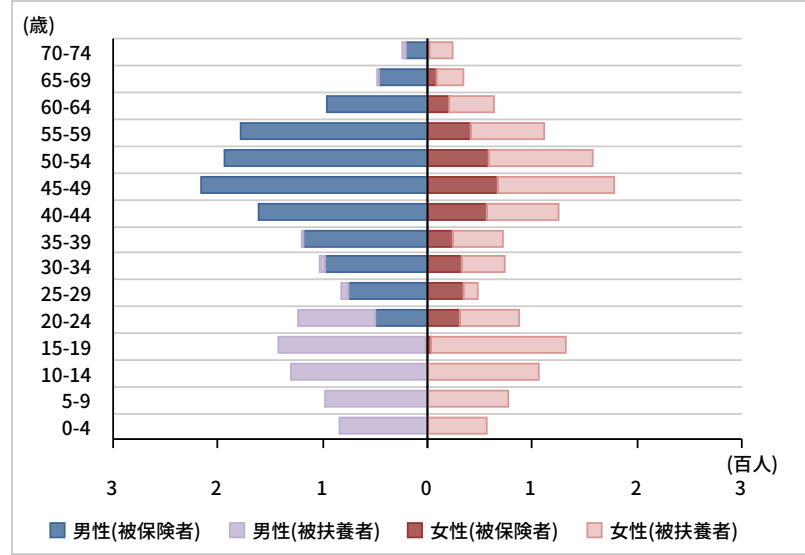
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数： 特定健康診査対象者数)	全体	1,451 / 1,806 = 80.3 %	
	被保険者	1,211 / 1,275 = 95.0 %	
	被扶養者	240 / 531 = 45.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数： 特定保健指導対象者数)	全体	85 / 340 = 25.0 %	
	被保険者	80 / 320 = 25.0 %	
	被扶養者	5 / 20 = 25.0 %	

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	3,120	1,763	2,828	1,719	3,021	1,826
	特定保健指導事業費	3,663	2,069	3,663	2,227	5,759	3,482
	保健指導宣伝費	886	501	886	539	902	545
	疾病予防費	27,658	15,626	26,230	15,945	33,342	20,158
	体育奨励費	2,721	1,537	2,123	1,291	2,334	1,411
	直営保養所費	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	小計 …a	38,048	21,496	35,730	21,720	45,358	27,423
	経常支出合計 …b	857,311	484,356	870,340	529,082	765,018	462,526
	a/b×100 (%)	4.44		4.11		5.93	

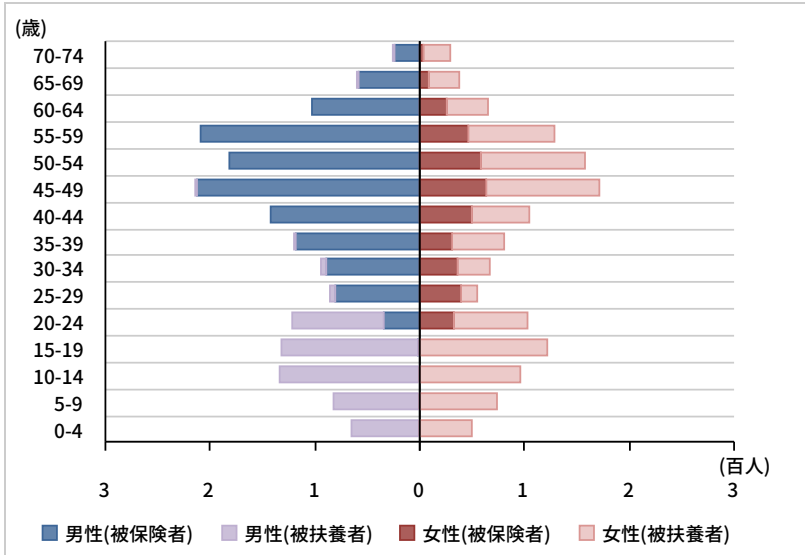
平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	0人	15～19	1人	10～14	0人	15～19	1人
20～24	34人	25～29	76人	20～24	49人	25～29	76人	20～24	35人	25～29	80人
30～34	122人	35～39	129人	30～34	97人	35～39	119人	30～34	90人	35～39	119人
40～44	229人	45～49	225人	40～44	161人	45～49	216人	40～44	142人	45～49	213人
50～54	231人	55～59	178人	50～54	193人	55～59	179人	50～54	181人	55～59	209人
60～64	102人	65～69	40人	60～64	96人	65～69	47人	60～64	103人	65～69	59人
70～74	17人			70～74	21人			70～74	24人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	2人	10～14	0人	15～19	3人	10～14	0人	15～19	0人
20～24	22人	25～29	30人	20～24	31人	25～29	34人	20～24	32人	25～29	40人
30～34	32人	35～39	37人	30～34	33人	35～39	24人	30～34	36人	35～39	31人
40～44	61人	45～49	75人	40～44	56人	45～49	66人	40～44	49人	45～49	64人
50～54	54人	55～59	45人	50～54	58人	55～59	41人	50～54	59人	55～59	47人
60～64	20人	65～69	5人	60～64	21人	65～69	8人	60～64	25人	65～69	9人
70～74	1人			70～74	2人			70～74	3人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	95人	5～9	133人	0～4	84人	5～9	97人	0～4	65人	5～9	83人
10～14	136人	15～19	157人	10～14	130人	15～19	141人	10～14	133人	15～19	130人
20～24	73人	25～29	10人	20～24	74人	25～29	7人	20～24	88人	25～29	6人
30～34	4人	35～39	0人	30～34	6人	35～39	1人	30～34	6人	35～39	2人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	0人	45～49	0人	40～44	0人	45～49	1人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	0人	55～59	0人	50～54	0人	55～59	0人
60～64	0人	65～69	1人	60～64	0人	65～69	1人	60～64	0人	65～69	1人
70～74	5人			70～74	3人			70～74	2人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	71人	5～9	95人	0～4	57人	5～9	77人	0～4	49人	5～9	73人
10～14	140人	15～19	145人	10～14	106人	15～19	129人	10～14	96人	15～19	122人
20～24	75人	25～29	21人	20～24	56人	25～29	14人	20～24	71人	25～29	15人
30～34	51人	35～39	58人	30～34	41人	35～39	48人	30～34	30人	35～39	50人
40～44	111人	45～49	123人	40～44	68人	45～49	111人	40～44	54人	45～49	108人
50～54	113人	55～59	75人	50～54	99人	55～59	70人	50～54	100人	55～59	83人
60～64	46人	65～69	31人	60～64	42人	65～69	26人	60～64	39人	65～69	29人
70～74	24人			70～74	22人			70～74	25人		

基本情報から見える特徴

- 被保険者は、80%が男性で、平均年齢は45.1歳と高齢化している。また、扶養率は1.06と高い。
- 拠点数が多く、全国に点在している。
- 保険料率は100.0%と、健保平均より高い。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

特定健康診査、生活習慣病健診、人間ドック、配偶者検診等は充実している

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

疾病予防	救急薬品配布
疾病予防	インフルエンザ予防接種
体育奨励	ウォーキング運動
予算措置なし	禁煙コンテスト

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定健康診査事業	特定健診（任継者）
特定健康診査事業	生活習慣病健診
特定健康診査事業	配偶者健診
特定健康診査事業	人間ドック
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	育児月刊誌
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	電話健康診断
疾病予防	重症化予防

事業主の取組

1	メンタル健康相談
2	ストレスチェック
3	長時間労働削減

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
疾病予防	3	救急薬品配布	【目的】健康増進、予防 【概要】家庭用常備薬の補助 年1回1,500円を上限	被保険者	全て	男女	18～74	全員	2,126	申込者数 1442名 申込率 82.6%	社内イントラ、申込書配布により告知	-	4
	3	インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザ予防 【概要】予防接種の補助 年間一人1回2,000円を上限	被保険者	全て	男女	18～74	全員	481	・予防接種 239名	・イントラ、ホームページにて告知 ・事業主も奨励	-	3
体育奨励	5	ウォーキング運動	【目的】健康維持・増進 【概要】2ヶ月間で1日1万歩合計61万歩、完歩者には完歩賞贈呈	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	432	・年2回実施 延べ 177人参加 完歩者 78人	・毎年実施しているので定着している	・参加者の固定化	3
予算措置なし	5	禁煙コンテスト	【目的】喫煙者と受動喫煙者の減少 【概要】らくらく禁煙コンテスト参加料の補助 一人1回4,500円	被保険者	全て	男女	- (上限なし)	全員	--				-
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診(被扶養者)	【目的】加入者の健康維持 【概要】健診機関での受診による被扶養者の特定健診 ・案内を自宅送付	被扶養者	全て	男女	40～74	全員	4,323	・案内冊子配布数 556通 ・受診者数 215名 ・受診率 38.7%	・自宅宛に案内冊子を送付 ・未申込者に受診勧奨	・対象者の健診に対する理解不足	3
	3	特定健診(任継者)	【目的】加入者の健康維持 【概要】健診機関での受診による任継者の特定健診 ・案内を自宅送付	被保険者	全て	男女	40～74	全員	49	・案内冊子配布数 22通 ・受診者数 12名	・自宅宛に案内冊子を送付	・通院者が多く、改めて健診を受ける者が少ない	3
	3	生活習慣病健診	【目的】加入者の健康維持 【概要】事業主が行う定期健康診断と健保の行う特定健診を併せて生活習慣病として共同実施。 ・巡回健診により各事業所で実施	被保険者	全て	男女	18～74	全員	8,111	・受診者数 1488名 ・実施率 90.5%	・巡回健診により事業所で実施 ・事業所が点在しており巡回健診不可能な所は、事業所近くの医療機関を利用し補助を行うことによって受診出来るようにしている	・未受診者の受診勧奨が事業会社によってまちまち ・有所見者の再検査受診状況の管理が、事業会社によってまちまち	4
	3	配偶者健診	【目的】加入者の健康維持 【概要】特定健診に加えて生活習慣病を範囲として35歳から実施	被扶養者	全て	女性	35～74	全員	402	・案内冊子配布数 48通 ・受診者数 20名 ・受診率 41.7%	・自宅宛に案内冊子を送付 ・未申込者に受診勧奨	・対象者の健診に対する理解不足	3
	3	人間ドック	【目的】加入者の健康維持 【概要】疾病の早期発見、早期治療。費用の一部補助。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	2,699	受診者数 90名	医療機関・受診内容を特定していないので各自の意向に沿った受診が可能	リピーターが多く、新規受診者が少ない 告知不足	2
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣改善による生活習慣病発症予防、健康状態の改善 【概要】積極的支援対象者に6カ月間の保健指導実施。 ・保健指導機関に外部委託。 ・早期から対応するため対象を35歳から実施。	被保険者	全て	男女	35～74	基準該当者	2,615	積極的支援 初回面接 74名 終了者数 69名 終了率 93.2% (35歳～39歳 7名含む)	・保健指導機関からのメールによるサポート、事業主(健康管理室)の保健指導に対する説明、サポート	・毎年、保健指導対象者となる者が多い ・指導終了後、継続が難しい	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	5	育児月刊誌	【目的】 出産した母親への情報提供 【概要】 育児誌 赤ママの配布	被保険者 被扶養者	全て	女性	18 ～ 50	全員	97	・新規発生分より一時中止	・心配事が解消された等好評	・対象者が一部に限定されている	3
	2	医療費通知	【目的】 医療費確認のための情報提供 【概要】 個人ポータルサイト「コネクト」で随時閲覧可	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	外注業者が倒産により実施できず。Webによる通知に変更予定	・Webによる通知に変更予定	・医療費通知した内容に関する問い合わせがほとんどなく、実際に内容を確認しているか不明	3
疾病予防	3	婦人科健診	【目的】 婦人科疾病の早期発見 【概要】 婦人科疾病に特化した健診メニュー、全額補助。	被保険者	全て	女性	30 ～ 74	全員	2,400	案内冊子配布数 287通 受診者数 183名 受診率 63.7%	費用全額補助 個人宛案内の配布	対象者の婦人科健診への抵抗感	4
	6	電話健康診断	【目的】 緊急時・夜間の健康相談 【概要】 電話による健康相談、メンタルヘルスカウンセリング、セカンドオピニオン（外部委託）	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	841	・年間約88件の利用	・事業主に相談できないことも相談できる ・被扶養者の健康相談・メンタル相談もできる ・夜間も利用できる	・告知不足	2
	4	重症化予防	【目的】 生活習慣病リスクの高い者に対して医療機関への受診勧奨をして重症化予防 【概要】 HbA1cの値が6.5以上の者を対象に受診勧奨（外部委託）	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	基準該当者	133	・対象者 79名 ・申込者 2名	社内イントラ、申込書配布により告知	糖尿病は初期段階では自覚症状が出にくいので受診が必要でない判断するケース、2年目で内容の周知、理解不足等が考えられる	-

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他


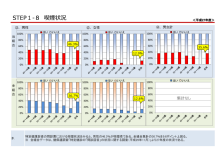
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
メンタル健康相談	【目的】メンタル疾患者の不安解消・重症以下予防 【概要】精神科専門医（非常勤）の設置	被保険者	男女	18 ～ 74	・年間10人程度の利用 ・窓口を設置していることに意義があり、増減は問題発生のバロメーターとして捉えているので、達成度は求めない	・非常勤であるが、専門医に直接相談できるようになっていること、遠方であっても専門医を紹介できるようになっている ・過去、メンタル問題があったが、窓口開設後、減少傾向にある	-	有
ストレスチェック	自身のストレス程度を把握しセルフケアを行うと同時に、組織分析を行い職場改善に繋げる	被保険者	男女	18 ～ 74	【状況】対象者：1903名 受験者：1690 受験率：88.8% 【期間】2017年7月～8月	【成功要因】高ストレス者数や職場状況が把握でき各社経営者、管理部へ情報共有ができた、この結果を基にメンタル相談する者もいた 【推進要因】各社に実務担当者決め管理させた	【課題1】受験率の低下(前年より4%減) 【課題2】高ストレス者のメンタル相談はハードル高く活用されていない、組織分析結果を受けた職場への対策は各社任せになっている	無
長時間労働削減	長時間労働によるストレスの軽減やワークライフバランスの充実のため	被保険者	男女	18 ～ 74	【状況】毎週水曜日をNO残業DAYとし、18時までには退社する 【時期】年間を通じて	【成功要因】NO残業DAYの習慣は定着している 【推進要因】会社により18時までの退社を勤怠システムでチェックしている	【課題】全社レベルの実施ではない、職場環境に合わせたルール等必要。業務精査し適正業務量にする必要がある	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診・保健指導の実施状況等	特定健診分析	-
イ		一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
ウ		生活習慣病に関する一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
エ		健康分布図	健康リスク分析	-
オ		保健指導基準値以上の者の割合	健康リスク分析	-
カ		生活習慣病リスクと医療機関の受診状況	健康リスク分析	-

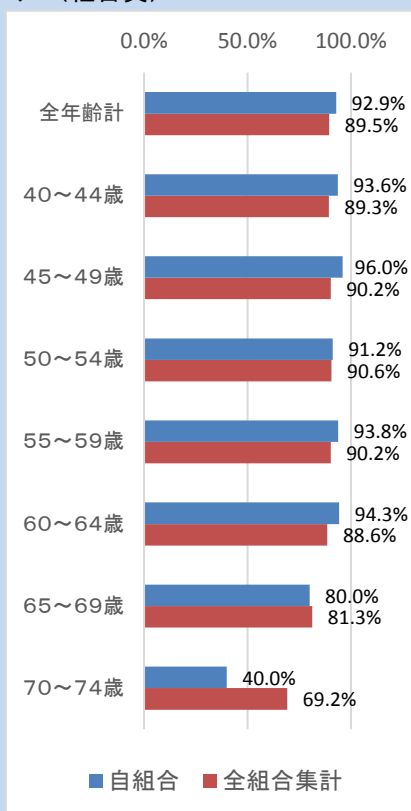
キ		後発医薬品の使用状況	-	-
ク		喫煙状況	健康リスク分析	-

STEP 1 - 3 特定健診・特定保健指導の実施状況等

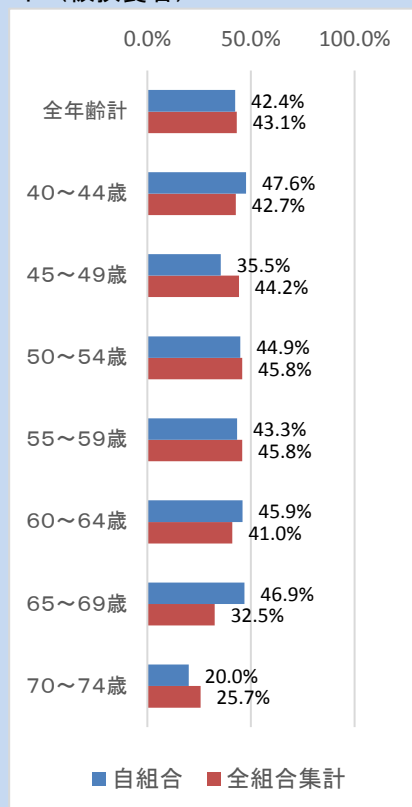
〈平成28年度〉

【特定健診の受診率】

ア. (組合員)

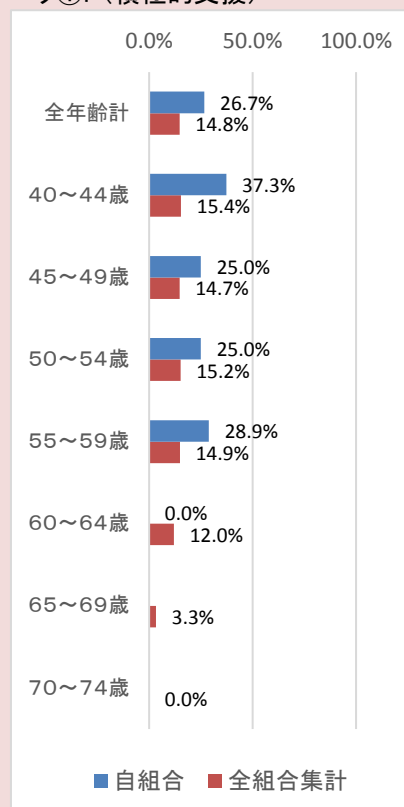


イ. (被扶養者)

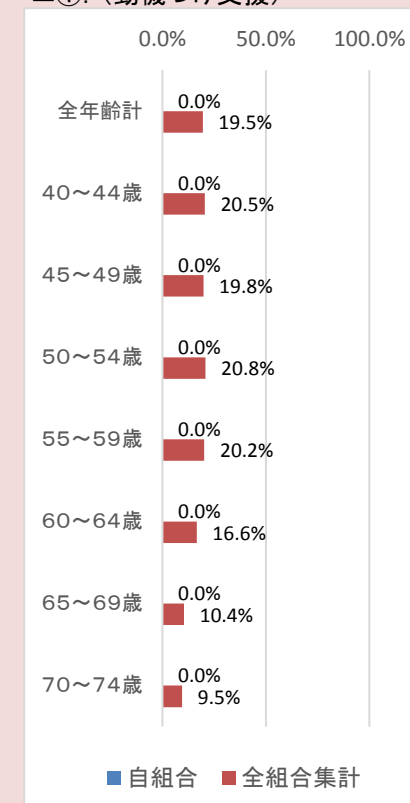


【特定保健指導の実施率・加入者】

ウ①. (積極的支援)



エ①. (動機づけ支援)



ア.
イ.

特定健康診査の受診率について、組合員の全年齢計は、92.9%であり、全組合集計89.5%を上回る。一方、被扶養者の全年齢計は42.4%であり、全組合集計の43.1%を下回る。

ウ.
エ.

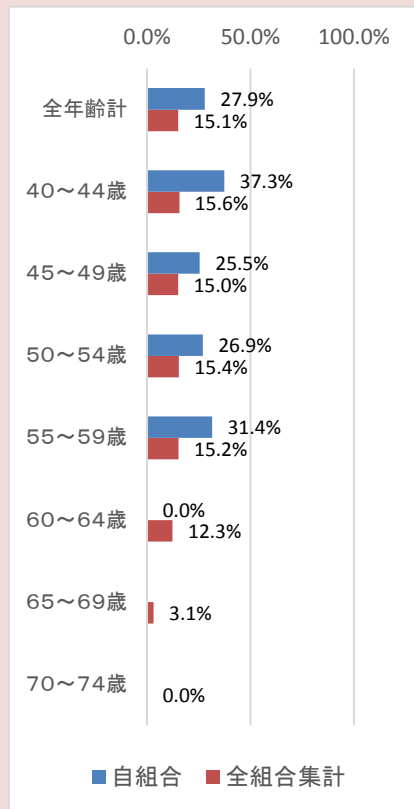
特定保健指導の実施率について、積極的支援の全年齢計は26.7%であり、全組合集計14.8%を上回る。一方、被扶養者については実施しておらず、0%である。

STEP 1 - 3 特定健診・特定保健指導の実施状況等

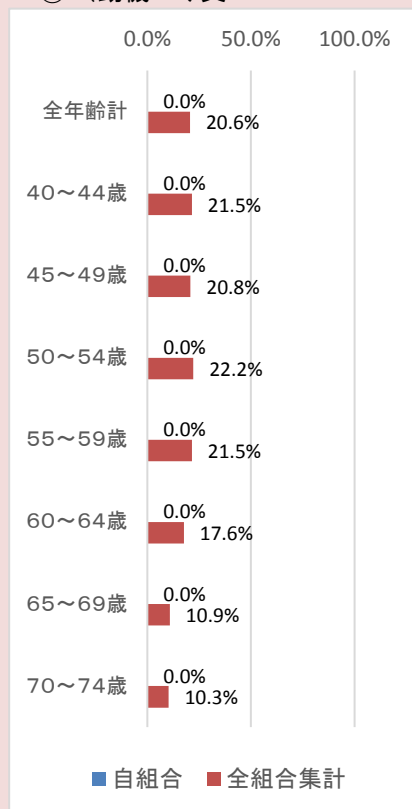
〈平成28年度〉

【特定保健指導の実施率・組合員】

ウ②. (積極的支援)

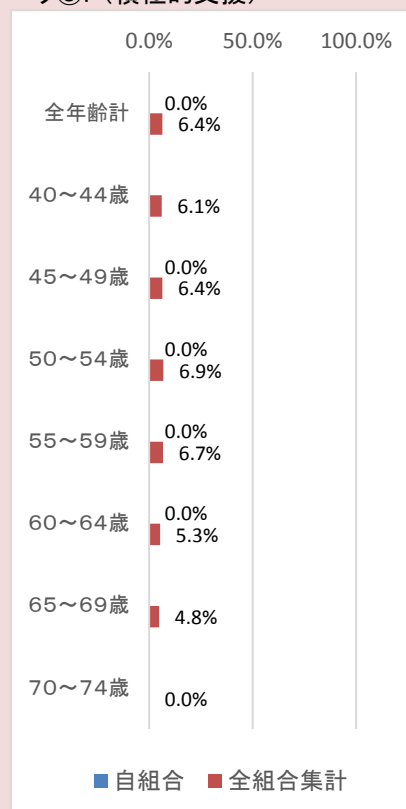


エ②. (動機づけ支)

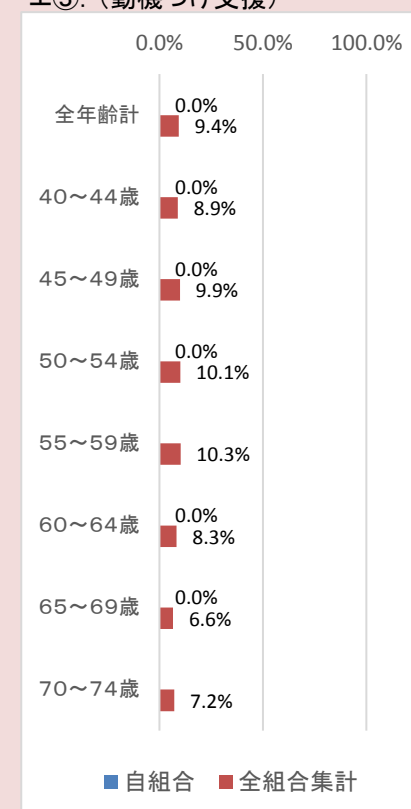


【特定保健指導の実施率・被扶養者】

ウ③. (積極的支援)



エ③. (動機づけ支援)



ウ.

組合員の特定保健指導の実施率については、積極的支援では27.9%であり、全組合集計の15.1%を上回っている。
動機付け支援については、実施していない。

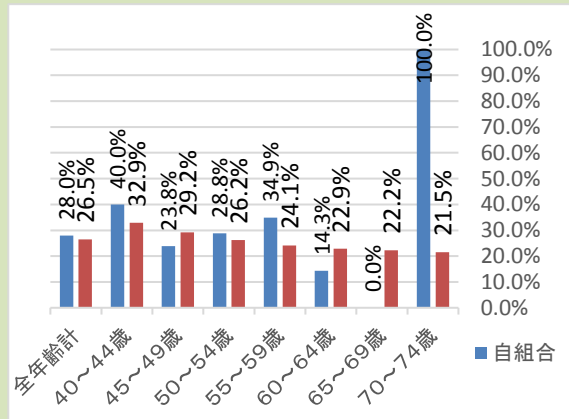
エ.

被扶養者の特定保健指導については、実施していない。

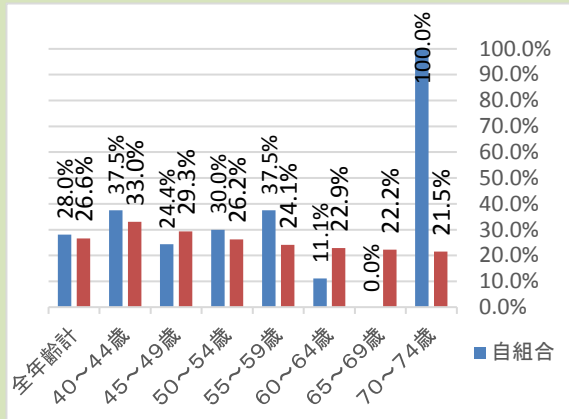
STEP 1 - 3 特定健診・特定保健指導の実施状況等

〈平成28年度〉

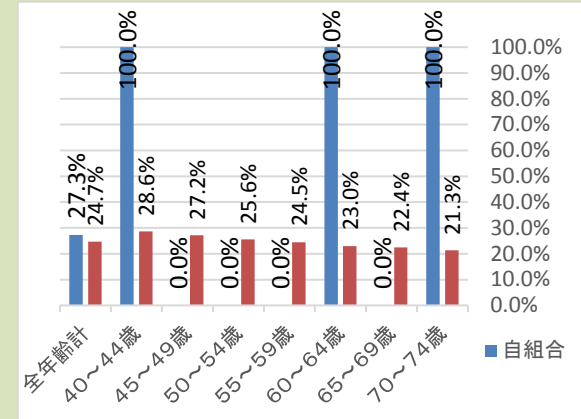
オ. メタボ該当率の減少率_加入者



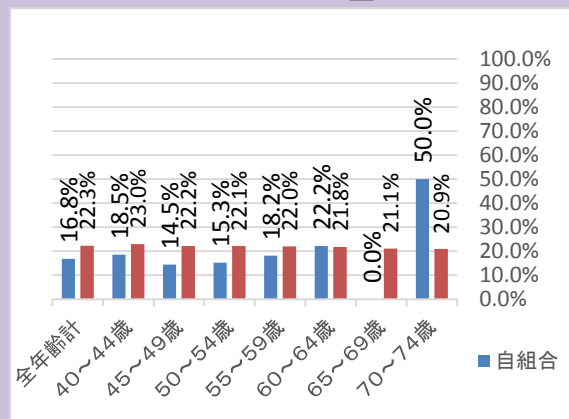
オ. メタボ該当率の減少率_組合員



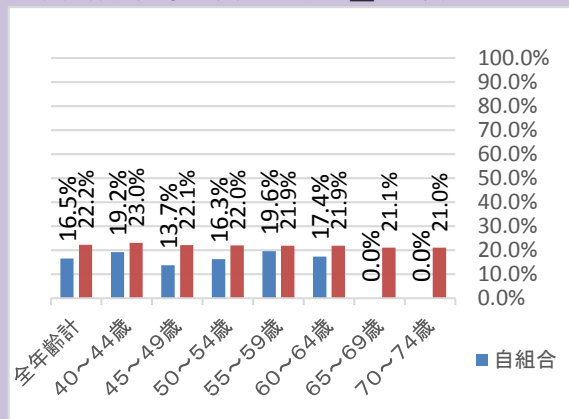
オ. メタボ該当率の減少率_被扶養者



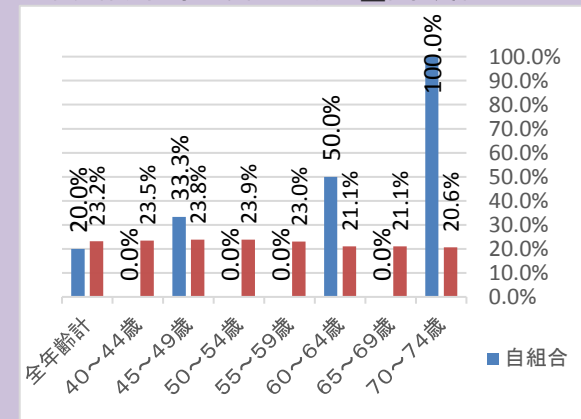
カ. 特定保健指導対象者の減少率_加入者



カ. 特定保健指導対象者の減少率_組合員



カ. 特定保健指導対象者の減少率_被扶養者



オ.

前年度のメタボリックシンドローム該当者のうち、当該年度にメタボリックシンドロームでなくなった人の割合をみると、加入者、組合員、被扶養者ともに、全組合集計を上回る。組合員を年齢階層別にみると、45~49歳と、60~64歳では、全組合集計を下回る。

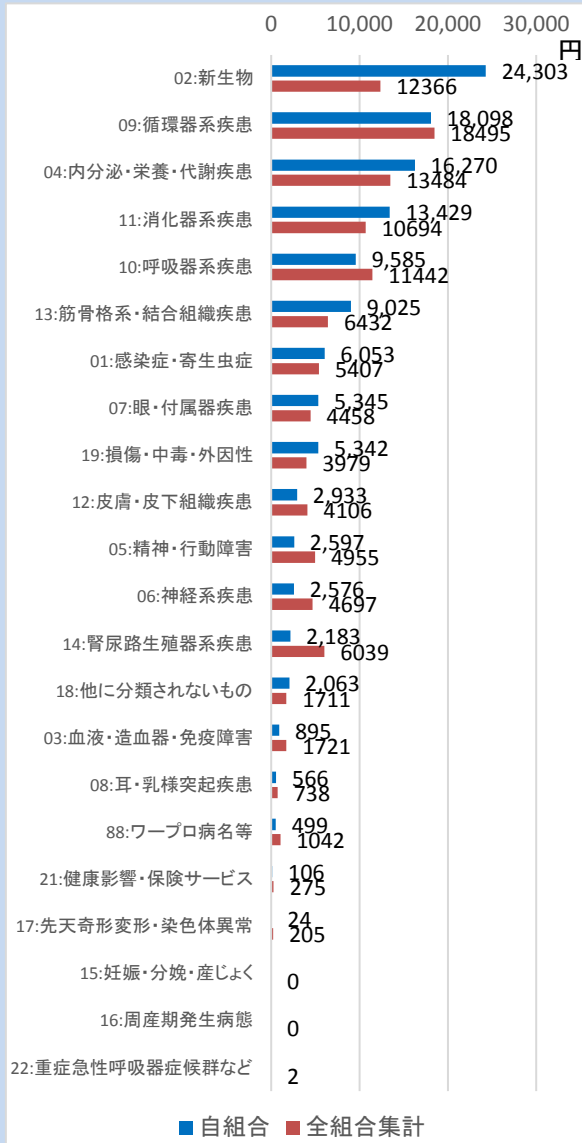
カ.

前年度の特定保健指導対象者のうち、当該年度に特定保健指導対象者でなくなった人の割合をみると、加入者、組合員、被扶養者ともに全組合集計を下回る。

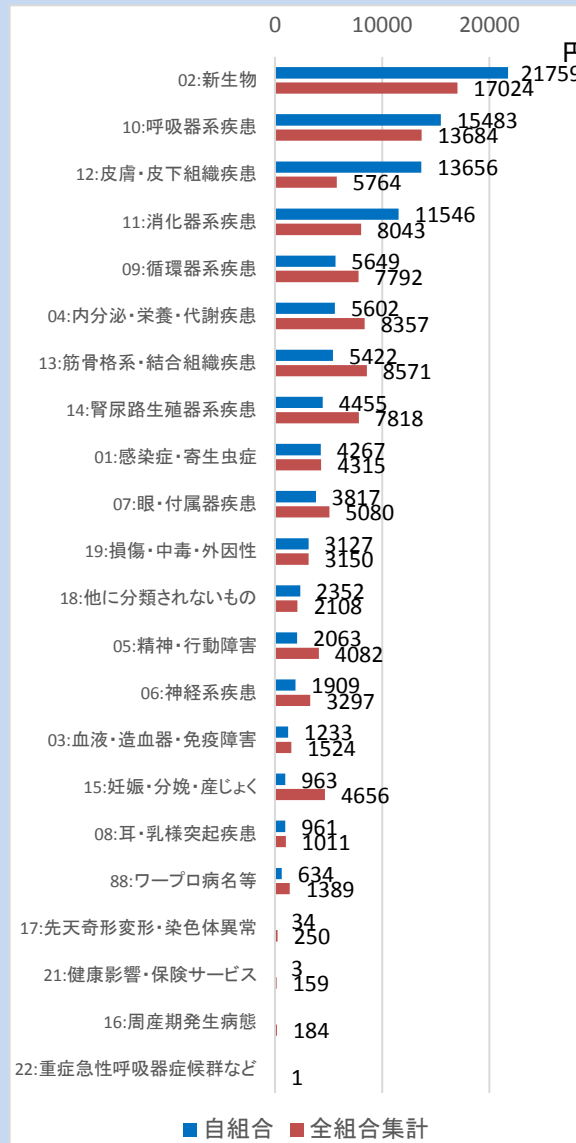
STEP 1 - 4 一人当たり医療費（疾病大分類 - 1）

＜平成28年度受診分＞

キ①. 疾病大分類別一人当たり医療費__組合員・男性



キ②. 疾病大分類別一人当たり医療費__組合員・女性



キ③. 疾病大分類別一人当たり医療費__組合員・男女計



キ.

疾病大分類別一人当たり医療費について、組合員男性では、新生物が最も高く24,303円であり、全組合集計の12,366円を大きく上回る。
 組合員女性では、新生物がもっとも高く21,759円であり、全組合集計の17,024円を上回る。
 組合員の男女計では、新生物がもっとも高く23,778円であり、全組合集計の13,956円を上回る。

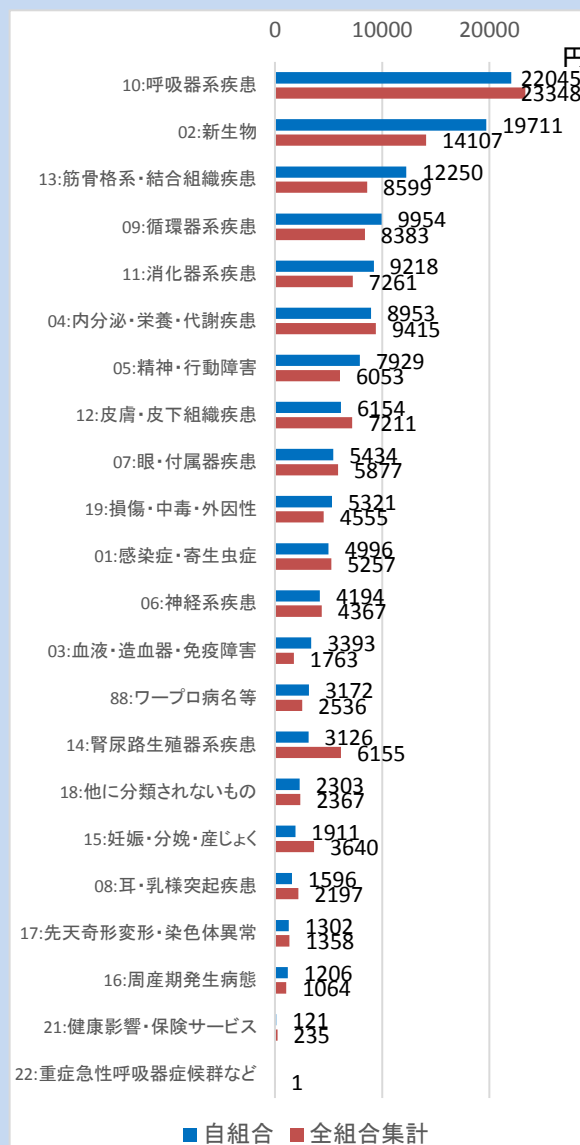
STEP 1 - 4 一人当たり医療費 (疾病大分類 - 2)

〈平成28年度受診分〉

キ④. 疾病大分類別一人当たり医療費__被扶養者・男性



キ⑤. 疾病大分類別一人当たり医療費__被扶養者・女性



キ⑥. 疾病大分類別一人当たり医療費__被扶養者・男女計



キ.

疾病大分類別一人当たり医療費について、被扶養者男性では、呼吸器系疾患がもっとも高く31,742円で、全組合集計37,870円を下回る。
 被扶養者女性では、呼吸器系疾患がもっとも高く22,045円で、全組合集計23,348円を下回る。
 被扶養者男女計では、呼吸器系疾患がもっとも高く25,305円で、全組合集計28,230円を下回る。

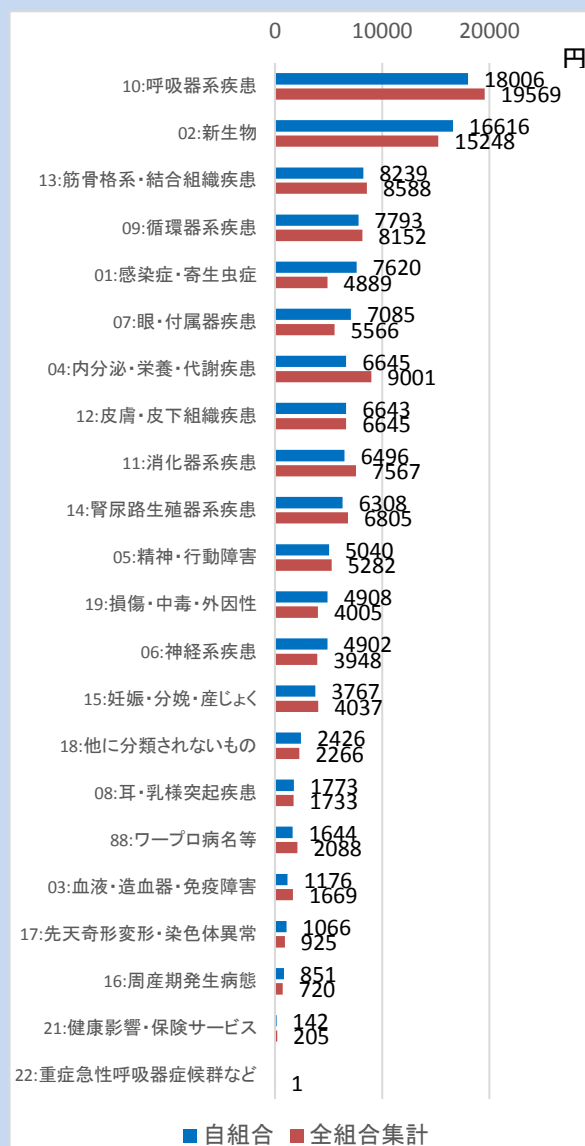
STEP 1 - 4 一人当たり医療費 (疾病大分類 - 3)

<平成28年度受診分>

キ⑦. 疾病大分類別一人当たり医療費_加入者・男性



キ⑧. 疾病大分類別一人当たり医療費_加入者・女性



キ⑨. 疾病大分類別一人当たり医療費_加入者・男女計



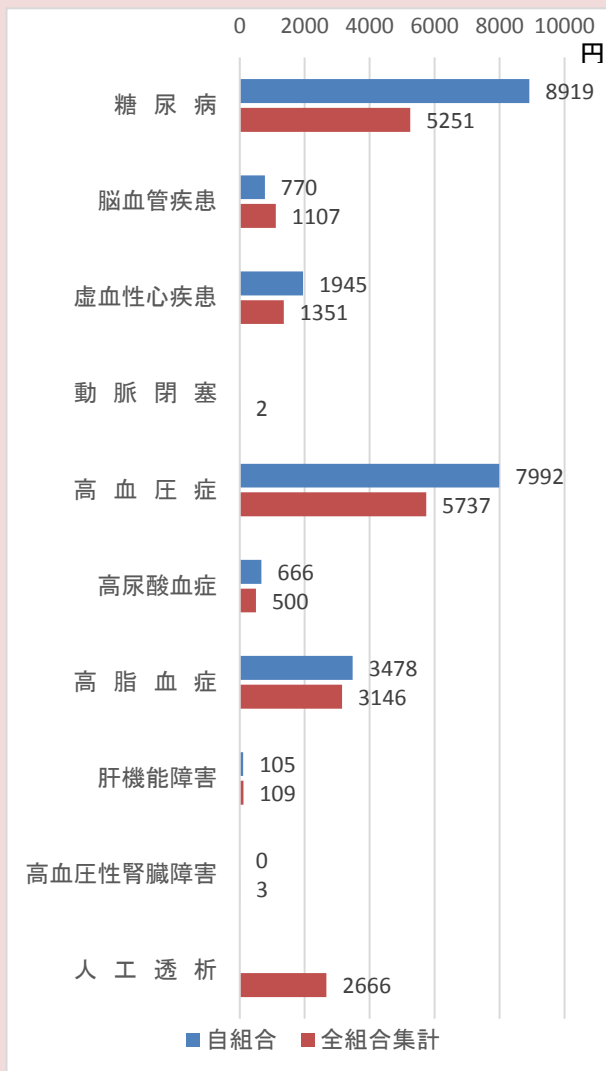
キ.

疾病大分類別一人当たり医療費について加入者男性では、新生物がもっとも高く19,124円であり、全組合集計9,532円を大きく上回る。
 加入者女性では、呼吸器系疾患がもっとも高く18,006円であり、全組合集計19,569円を下回る。
 加入者男女計では、新生物がもっとも高く19,595円であり、全組合集計12,303円を上回る。

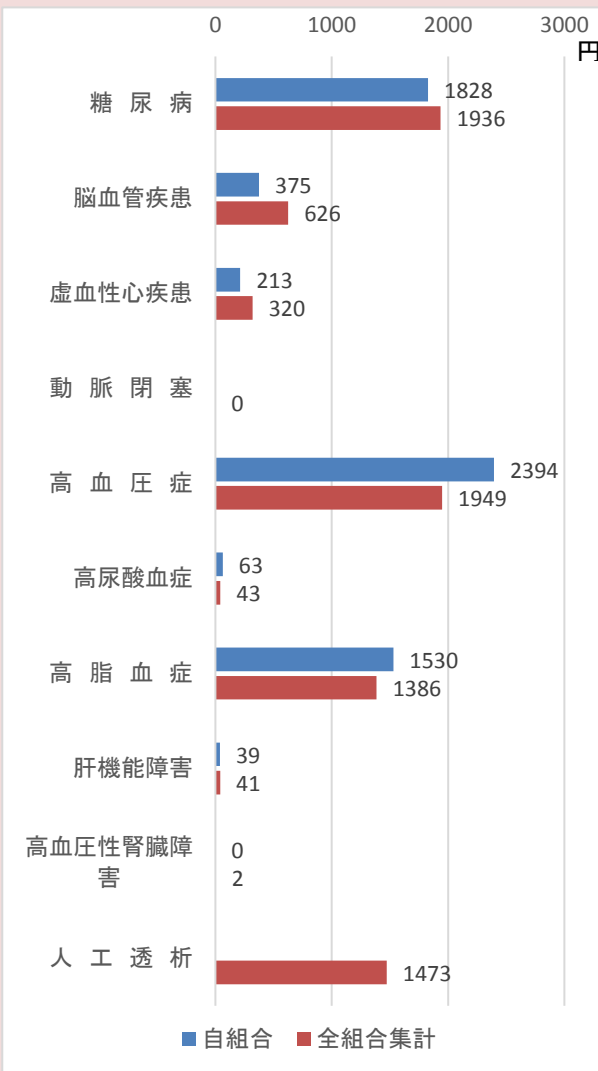
STEP 1 - 4 一人当たり医療費

<平成28年度受診分>

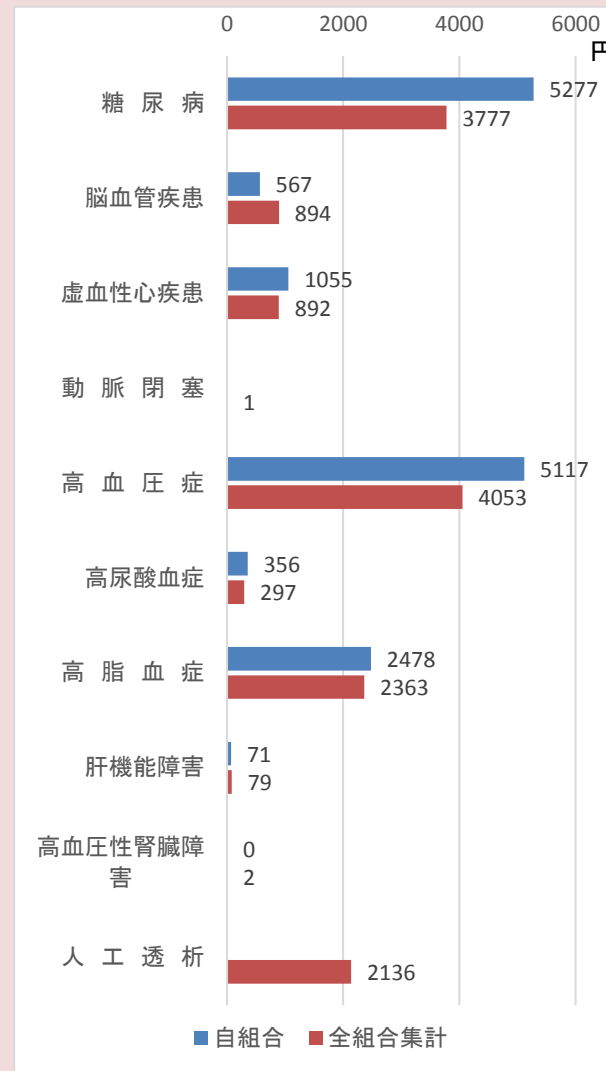
ク①. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たりの医療費_組合員



ク②. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たりの医療費_被扶養者



ク③. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たりの医療費_加入者

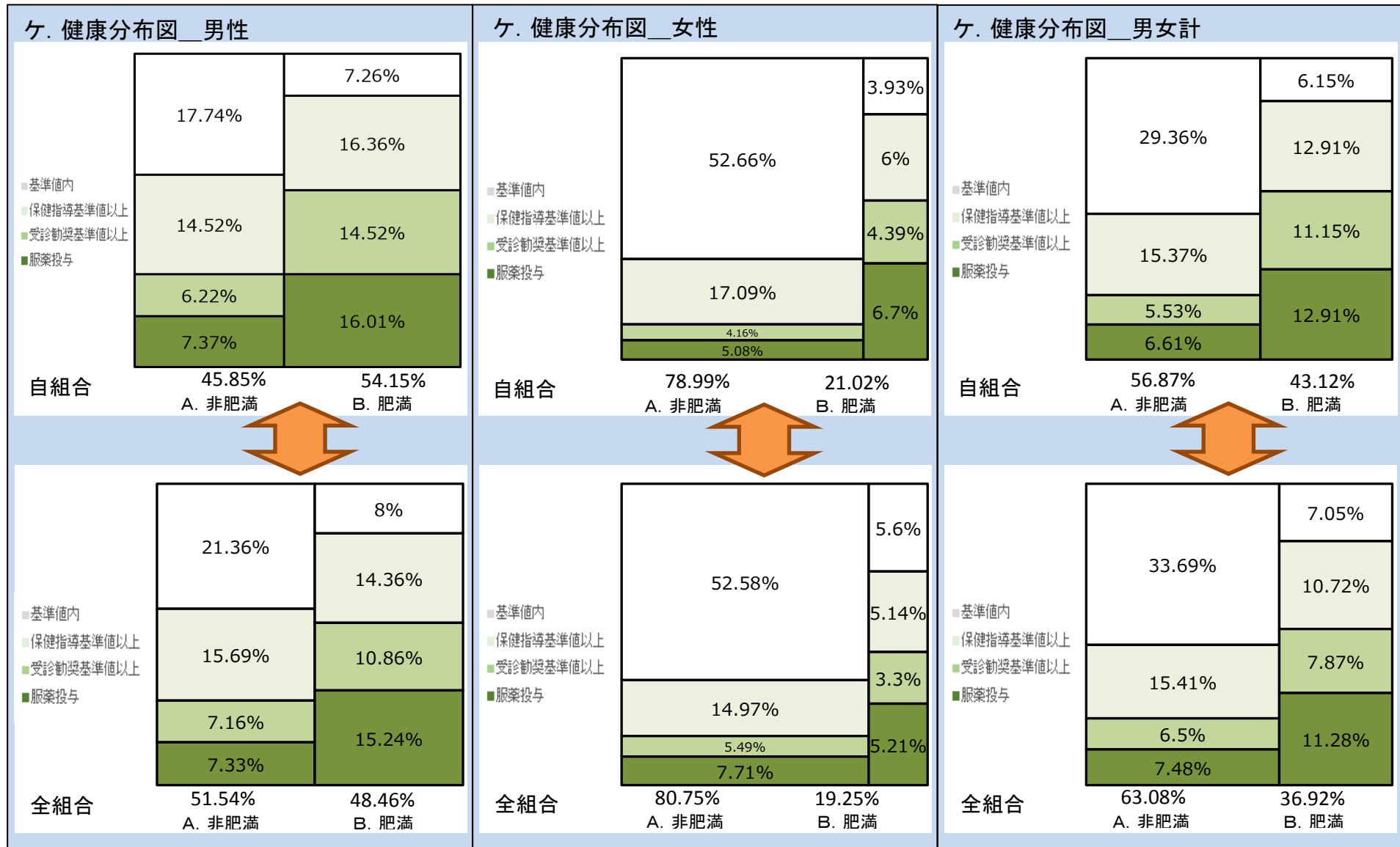


ク.

生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費について、組合員では、糖尿病がもっともたかく8,919円で、ついで高血圧症、高脂血症となっている。被扶養者では、高血圧症がもっとも高く2,394円で、ついで糖尿病、高脂血症となっている。加入者全体では、糖尿病がもっとも高く5,277円で、ついで高血圧症、高脂血症となっている。

STEP 1 - 5 健康分布図等

<平成28年度>



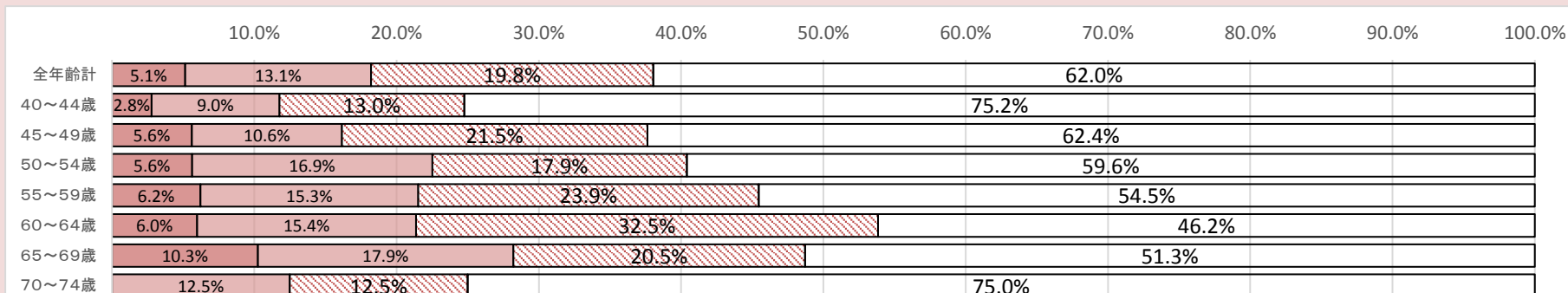
ケ. 健康分布図について、男性では肥満が54.15%と半数を超えている。また、全組合集計48.46%を5.69ポイント上回る。
 女性では、肥満が21.02%であり、全組合集計19.25%を1.77ポイント上回る。
 男女計では、肥満が43.12%であり、全組合集計36.92%を6.2ポイント上回る。

STEP 1 - 5 健康分布図等

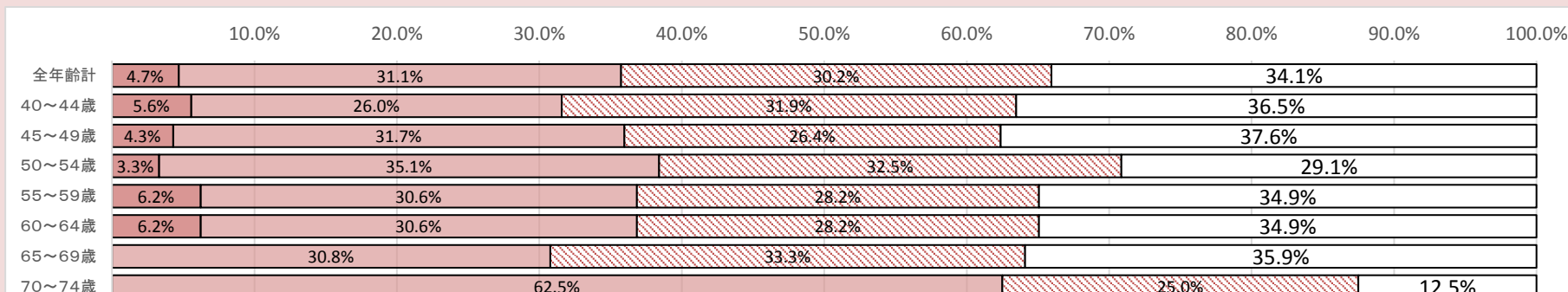
<平成28年度>

コ・サ①. 血圧値が保健指導基準値以上の者の割合_加入者

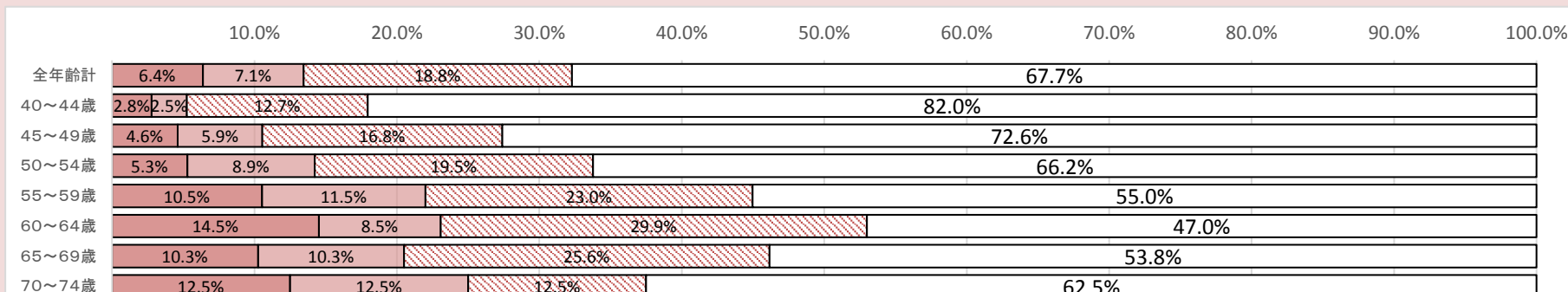
※ランク分け基準表とコメントは次ページに記載



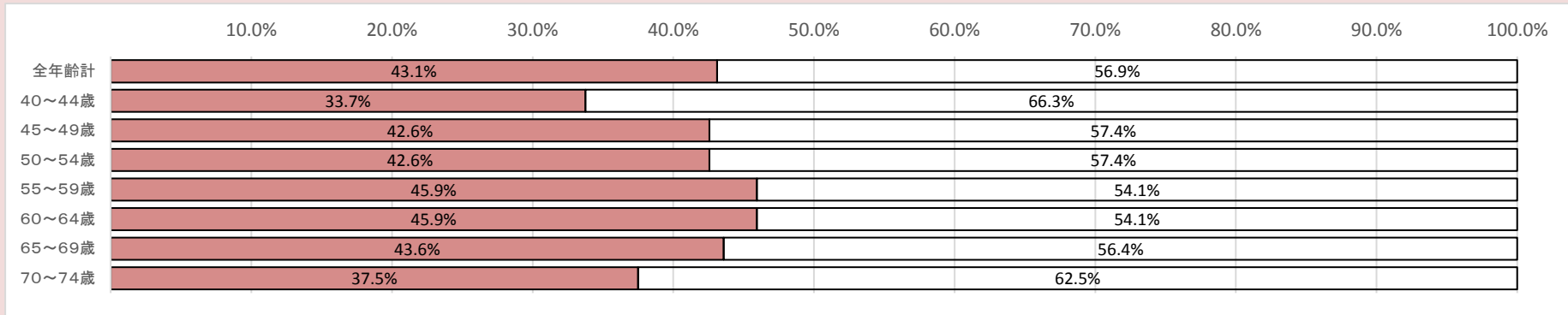
コ・サ②. 脂質値が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



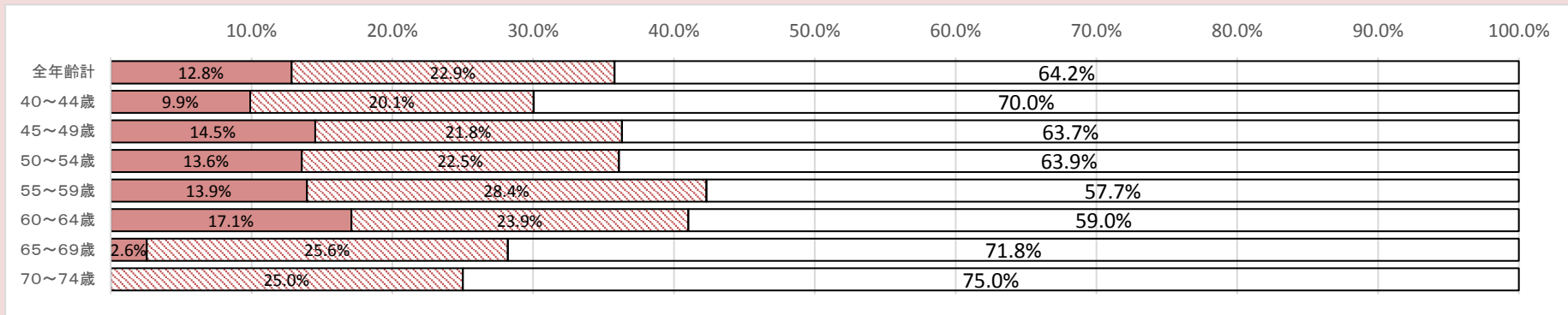
コ・サ③. 血糖値が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



コ・サ④. 肥満が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



コ・サ⑤. 肝機能が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



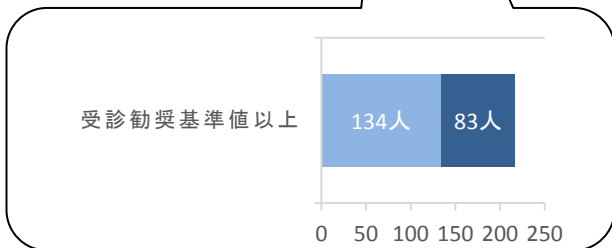
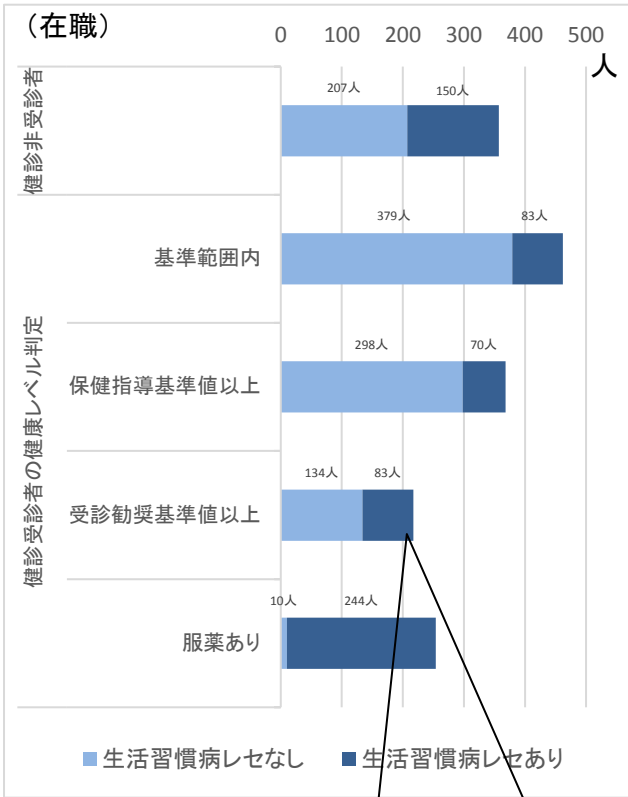
コ・サ
 血圧について、保健指導基準値以上の者は38.0%である。
 脂質について、保健指導基準値以上の者は65.9%である。
 血糖値について、保健指導基準値以上の者は32.3%である。
 肥満について、保健指導基準値以上の者は43.1%である。
 肝機能について、保健指導基準値以上の者は35.8%である。

血圧(mmHg)	脂質(mg/dl)	血糖(mg/dl)	肥満	肝機能(U/L)
収縮期 ≥ 160 or 拡張期 ≥ 100	LDL ≥ 180 or 中性脂肪 ≥ 1000	空腹時血糖 ≥ 126 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.5\%$	内臓脂肪面積 ≥ 100 または 内臓脂肪面積 < 100 and BMI ≥ 25	AST ≥ 51 or ALT ≥ 51 or γ -GT ≥ 101
収縮期 ≥ 140 or 拡張期 ≥ 90	LDL ≥ 140 or 中性脂肪 ≥ 300	空腹時血糖 ≥ 110 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.0\%$	内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 ≥ 85 , 女 ≥ 90 または 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI ≥ 25	
収縮期 ≥ 130 or 拡張期 ≥ 85	LDL ≥ 120 or HDL < 40 or 中性脂肪 ≥ 150	空腹時血糖 ≥ 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 5.6\%$	内臓脂肪面積 < 100 and BMI < 25	AST ≥ 31 or ALT ≥ 31 or γ -GT ≥ 51
収縮期 < 130 and 拡張期 < 85	LDL < 120 and HDL ≥ 40 and 中性脂肪 < 150	空腹時血糖 < 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $< 5.6\%$	内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI < 25	AST < 31 and ALT < 31 and γ -GT < 51

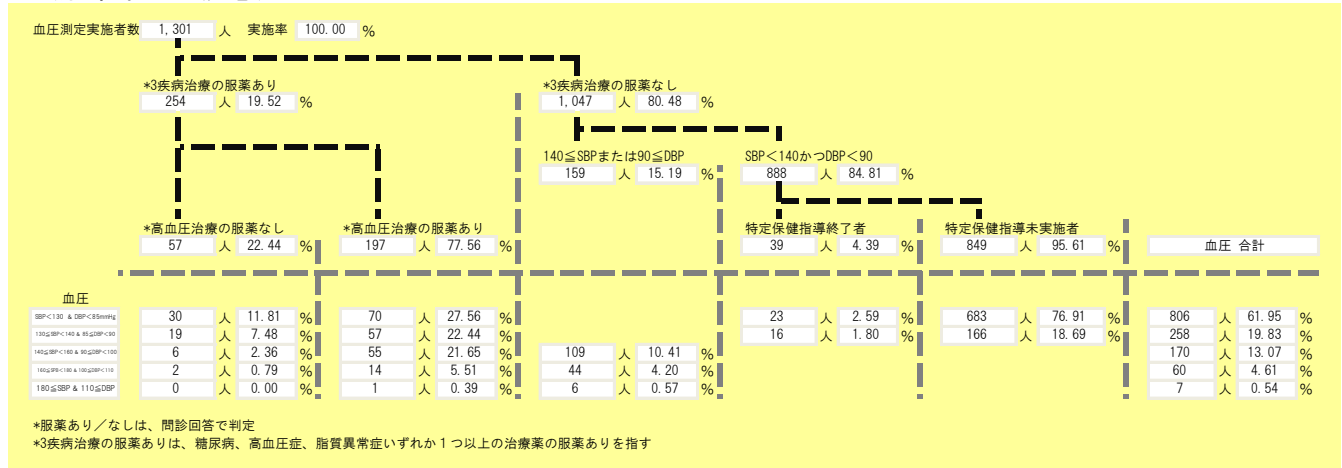
STEP 1 - 6 生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等

<平成28年度>

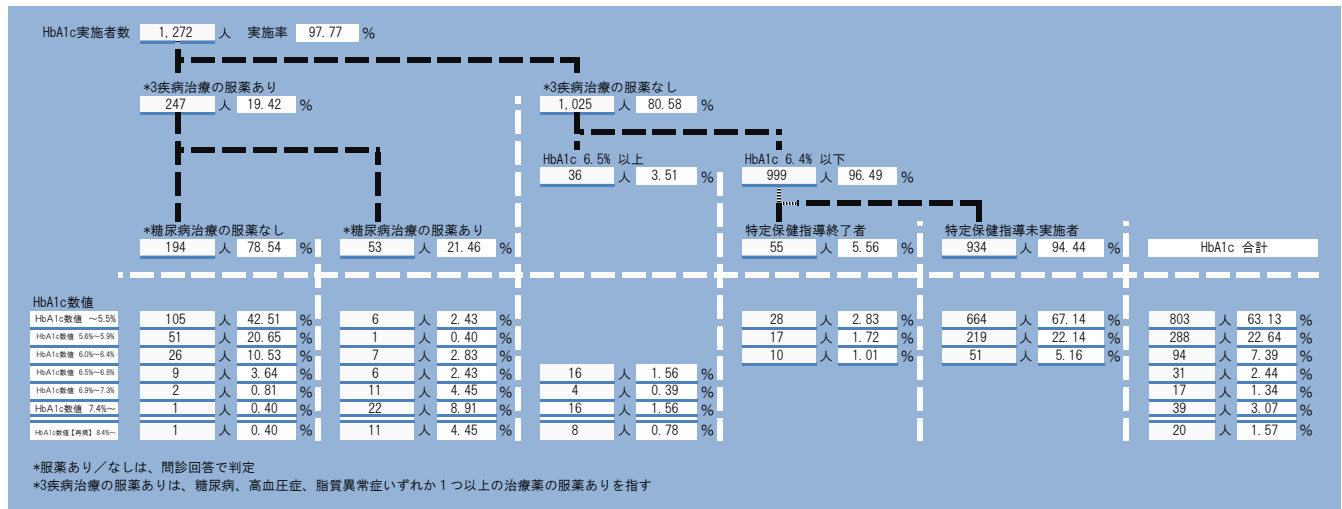
シ. (生活習慣病・健診レベル判定と医療受診状況)



【リスクフローチャート】 ス. (脳卒中／心疾患)



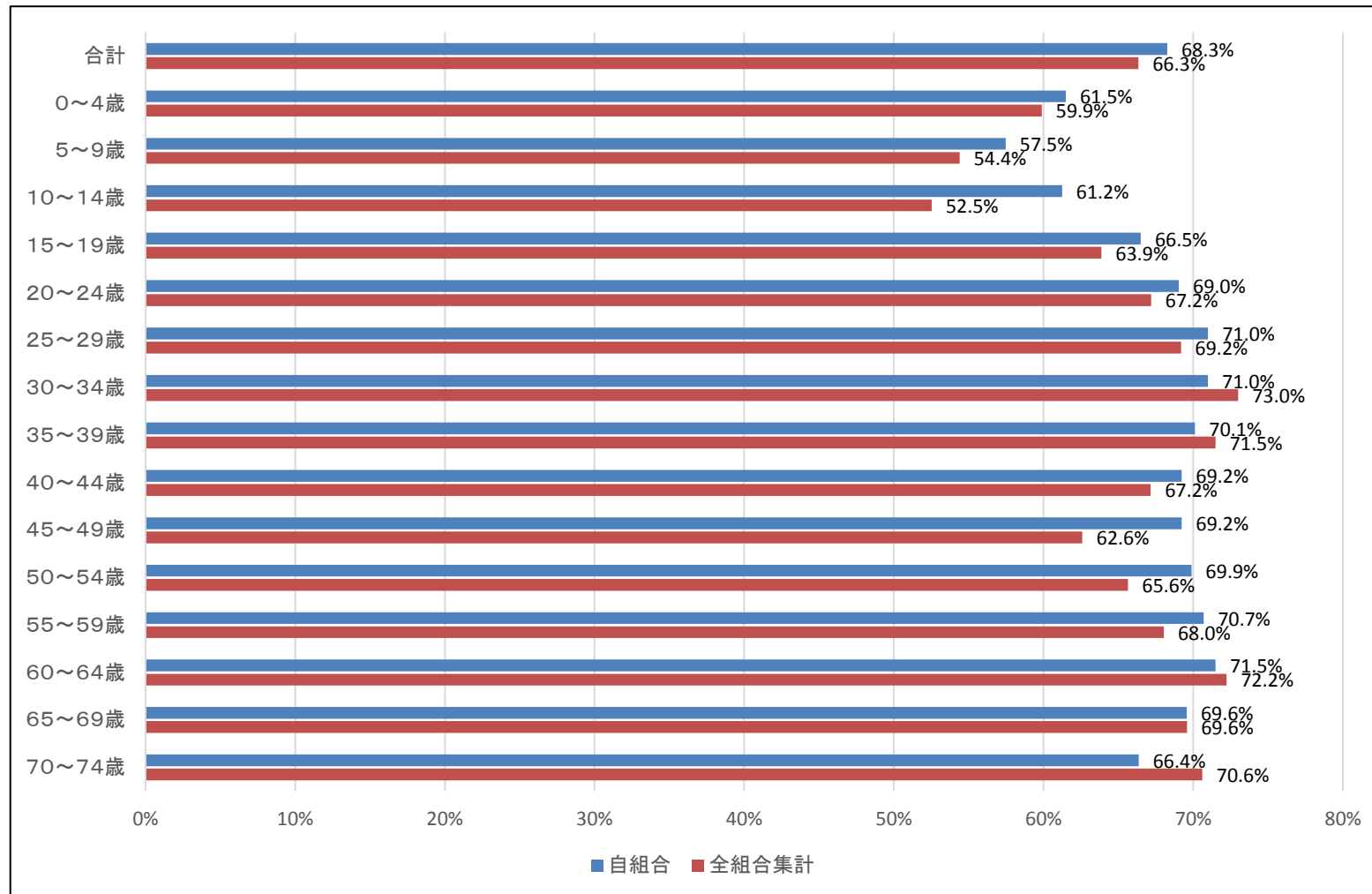
セ. (糖尿病)



シ. 生活習慣病健診レベル判定について、受診勧奨基準値以上の者は217人であるが、そのうち134人(61.8%)は生活習慣病関係で受診していない。

ス. セ. 血圧について、3疾病治療の服薬なしの1,047人のうち15.19%の159人は、受診勧奨基準値以上にもかかわらず血圧を下げる薬を服薬していない。HbA1cについて、3疾病治療の服薬なしの1,025人のうち3.51%の36人は、受診勧奨基準値以上にもかかわらず血糖を下げる薬を服薬していない。

ソ. (後発医薬品の使用割合)

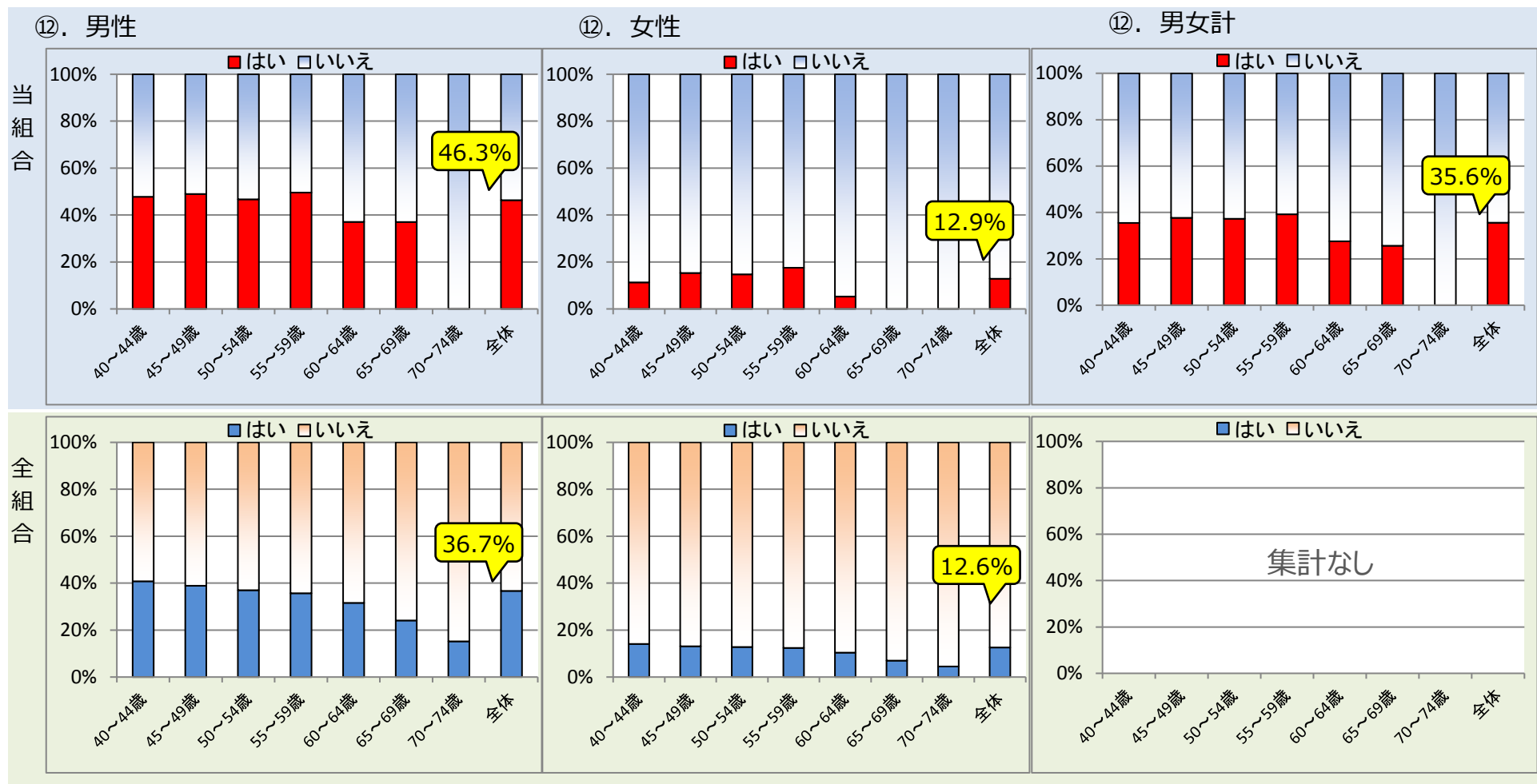


ソ.

後発医薬品の使用割合について、全体では68.3%であり、全組合集計の66.3%を上回る。

STEP 1 - 8 喫煙状況

<平成27年度>



タ. 特定健康診査の問診票における喫煙状況をみると、男性の46.3%が喫煙者である。全組合集計の36.7%を9.6ポイント上回る。
 ※ 全組合データは、健保連調査「特定健診の「問診回答」の状況に関する調査(平成29年11月)」より27年度の状況である。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	カ	健診結果で受診勧奨レベル以上になったにもかかわらず（その後の）受診行動に結びついていない	➔	重症化予防事業、とくに受診勧奨を促す	✓
2	イ	疾病分類では、新生物のほか循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、消化器系疾患が高い	➔	生活習慣病対策として、まずは特定保健指導の実施率の向上を目指す	✓
3	エ	男性の過半数が肥満である	➔	特定保健指導該当者に限定せず、組合員全員に対する生活習慣改善に向けた意識付けが求められる	✓
4	ア	特定保健指導について実施率をあげる	➔	参加しやすい仕組みを検討する	✓
5	ア	特定健康診査の受診率の向上。とくに被扶養者の受診率をあげる	➔	参加申込みを促す仕組みを検討する	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者の78.8%が男性で、平均年齢は45.5歳と高い。 事業場は213か所と多く、全国に広がっている。	➔	中高年齢の男性対応として、生活習慣病対策が中心となる。 事業場が散らばっていることから、情報提供・広報宣伝を中心とした保健事業が中心となる。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定健康診査、生活習慣病健診、人間ドック、配偶者検診等は充実している。	➔	健診後の要所見者へのフォローの充実強化

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

特定保健指導について実施率をあげる
疾病分類では、新生物のほか循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、消化器系疾患が高い
男性の過半数が肥満である

事業全体の目標

生活習慣病対策を強化する

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	救急薬品配布
体育奨励	ウォーキング運動
体育奨励	マイヘルスアップキャンペーン
予算措置なし	禁煙コンテスト

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定健康診査事業	特定健診（任継者）
特定健康診査事業	生活習慣病健診
特定健康診査事業	配偶者健診
特定健康診査事業	人間ドック
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	育児月刊誌
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	電話健康相談
疾病予防	メンタル健康相談
疾病予防	重症化予防

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
疾病予防	3	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ	【目的】 インフルエンザ予防 【概要】 予防接種の補助年間一人1回2,000円を上限	ス	各医療機関	520	560	600	640	680	720	疾病予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													広報をH29年度まで10月2回(内1回は健康管理室)に12月1回追加	広報をH29年度まで10月2回(内1回は健康管理室)に12月1回追加	広報をH29年度まで10月2回(内1回は健康管理室)に12月1回追加	広報をH29年度まで10月2回(内1回は健康管理室)に12月1回追加(その際事業会社別申請数を公表)	広報をH29年度まで10月2回(内1回は健康管理室)に12月1回追加(その際事業会社別申請数を公表)	広報をH29年度まで10月2回(内1回は健康管理室)に12月1回追加(その際事業会社別申請数を公表)		
													広報・周知の回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：3回 令和元年度：3回 令和2年度：3回 令和3年度：3回 令和4年度：3回 令和5年度：3回)・接種率の増加 接種率(【実績値】13.5% 【目標値】平成30年度：14.6% 令和元年度：15.8% 令和2年度：16.9% 令和3年度：18.0% 令和4年度：19.2% 令和5年度：20.3%)・H29年度240名(13.5%) H30年度から毎年20名増、H35年度360名目標 ・補助対象外の母体健康管理室での接種人数も聞き、全体の接種率を同室と共有する。							
8	既存	救急薬品配布	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	【目的】健康増進、予防補助 【概要】家庭用常備薬の補助年1回1,300円を上限	ス	あまの創健	3,339	3,200	4,500	4,500	4,500	4,500	発症通院予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
												H29年度と同じ申込制、補助額1300円、歯みがきセット進呈	H29年度と同じ申込制、補助額1500円、歯みがきセット進呈	変更 被保険者全員配布制（年2回） 6月歯みがきセット 11月常備薬セット	変更 被保険者全員配布制（年2回） 6月歯みがきセット 11月常備薬セット	変更 被保険者全員配布制（年2回） 6月歯みがきセット 11月常備薬セット	変更 被保険者全員配布制（年2回） 6月歯みがきセット 11月常備薬セット			
												申込の案内(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)- 申込率(【実績値】72.4% 【目標値】平成30年度：80% 令和元年度：90% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)・申込率90%以上 ・ポータルサイト「Connect」のログイン者を増やす目的に、今年からweb申込を「Connect」経由に限定する								
体育奨励	2,5	既存	ウォーキング運動	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1	ケ	【目的】健康維持・増進 【概要】2ヶ月間で1日1万歩合計61万歩、完歩者には完歩賞贈呈	ス	予防健康社	307	332	357	382	407	432	生活習慣改善、肥満予防	男性の過半数が肥満である
													H29年度と同じやり方で実施、春(5-6月)の1回のみ	H29年度と同じやり方で実施、春(5-6月)の1回のみ	参加資格を被扶養者妻の他にも拡大。夫婦や親子参加認める。春(5-6月)の1回のみ	参加資格を被扶養者妻の他にも拡大。夫婦や親子参加認める。春(5-6月)の1回のみ	参加資格を被扶養者妻の他にも拡大。夫婦や親子参加認める。春(5-6月)の1回のみ	参加資格を被扶養者妻の他にも拡大。夫婦や親子参加認める。春(5-6月)の1回のみ		
													広報・周知の回数(【実績値】2回以上 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)・年2回以上 参加者数(【実績値】342人 【目標値】平成30年度：180人 令和元年度：190人 令和2年度：200人 令和3年度：210人 令和4年度：220人 令和5年度：230人)・参加率15%以上							
2,5	新規	マイヘルスアップキャンペーン	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,エ,ケ,シ	生活習慣の改善及び健康意識の向上を目指して、参加者は「ウォーキング」「ダイエット」「ライフスタイル」の中から印象のプログラムを自ら設定しエントリーする。達成者には記念品等を贈呈。	ア,コ	法研	2,414	2,539	2,664	2,789	2,914	3,129	生活習慣改善、肥満予防	男性の過半数が肥満である	
												H30年度から秋のウォーキング運動に変え、10-11月に実施。記念品はウォーキング運動の完歩賞と同等とし参加者純増を目標とする。	H30年度から秋のウォーキング運動に変え、10-11月に実施。記念品はウォーキング運動の完歩賞と同等とし参加者純増を目標とする。	H30年度から秋のウォーキング運動の参加者増減状況により春(5-6月)と2回の実施を検討する。	ウォーキング運動の参加者増減状況により春(5-6月)と2回の実施を検討する。	ウォーキング運動の参加者増減状況により春(5-6月)と2回の実施を検討する。	ウォーキング運動の参加者増減状況により春(5-6月)と2回の実施を検討する。			
												事業の周知(【実績値】- 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)母体企業と協力してPRする 参加者数(【実績値】- 【目標値】平成30年度：450人 令和元年度：500人 令和2年度：550人 令和3年度：600人 令和4年度：650人 令和5年度：700人)毎年着実に増やしていく								
予算措置なし	5	既存	禁煙コンテスト	全て	男女	20～74	被保険者	1	ア,ケ	参加希望者募集	ス	法研	81	81	81	81	81	81	生活習慣改善	疾病分類では、新生物のほか循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、消化器系疾患が高い
													広報はH29年度まで同様1月2回(内1回は健康管理室)	広報はH29年度まで同様1月2回(内1回は健康管理室)	広報はH29年度まで同様1月2回(内1回は健康管理室、対象者を被扶養者にも広げることを検討)	広報はH29年度まで同様1月2回(内1回は健康管理室、対象者を被扶養者にも広げることを検討)	広報はH29年度まで同様1月2回(内1回は健康管理室、対象者を被扶養者にも広げることを検討)	広報はH29年度まで同様1月2回(内1回は健康管理室、対象者を被扶養者にも広げることを検討)		
													広報・周知の回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)毎年5人の参加 参加者数(【実績値】5人 【目標値】平成30年度：5人 令和元年度：5人 令和2年度：5人 令和3年度：5人 令和4年度：5人 令和5年度：5人)-							
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ケ	【目的】加入者の健康維持 【概要】健診機関での受診による被扶養者の特定健診・案内を自宅送付	ア,コ	日健文	3,087	3,087	3,087	3,087	3,087	3,087	健診受診	健診結果で受診勧奨レベル以上になったにもかかわらず(その後の)受診行動に結びついていない
													日健文より対象者全員に案内、未受診者に健保より受診勧奨文書送付。	日健文より対象者全員に案内、未受診者に健保より受診勧奨文書送付。	日健文より対象者全員に案内、未受診者に健保より受診勧奨文書送付。	日健文より対象者全員に案内、未受診者に健保より受診勧奨文書送付。	日健文より対象者全員に案内、未受診者に健保より受診勧奨文書送付。	日健文より対象者全員に案内、未受診者に健保より受診勧奨文書送付。		
													広報・周知の回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)- 受診率(【実績値】43% 【目標値】平成30年度：44% 令和元年度：45% 令和2年度：46% 令和3年度：47% 令和4年度：48% 令和5年度：49%)・受診率43%以上							
3	既存	特定健診(任意継続者)	全て	男女	40～74	任意継続者	1	ケ	【目的】加入者の健康維持 【概要】健診機関での受診による任意継続者の特定健診・案内を自宅送付	ス	日健文	160	200	200	200	200	200	健診受診	特定健康診査の受診率の向上。とくに被扶養者の受診率をあげる	
												通院治療者を含め100%の受診率を目標とする	通院治療者を含め100%の受診率を目標とする	通院治療者を含め100%の受診率を目標とする	通院治療者を含め100%の受診率を目標とする	通院治療者を含め100%の受診率を目標とする	通院治療者を含め100%の受診率を目標とする			
												広報・周知の回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)- 受診率(【実績値】65% 【目標値】平成30年度：80% 令和元年度：85% 令和2年度：90% 令和3年度：95% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)・再検査受診率の向上 ・健康診断の受診率97%								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ケ	【目的】加入者の健康維持 【概要】事業主が行う定期健康診断と健保の行う特定健診を併せて生活習慣病として共同実施。 ・巡回健診により各事業所で実施	ス	日健クリニック他	9,388	9,358	9,328	9,298	9,268	9,238	健診受診	健診結果で受診勧奨レベル以上になったにもかかわらず（その後の）受診行動に結びついていない 疾病分類では、新生物のほか循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、消化器系疾患が高い	
広報・周知の回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												受診率(【実績値】92.9% 【目標値】平成30年度：94% 令和元年度：95% 令和2年度：96% 令和3年度：97% 令和4年度：97% 令和5年度：97%)健康診断の受診率97%								
3	既存(法定)	配偶者健診	全て	女性	35～39	被扶養者	1	ケ	【目的】加入者の健康維持 【概要】特定健診に加えて生活習慣病を範囲として35歳から実施	ス	日健文	300	320	340	360	380	400	健診受診	特定健康診査の受診率の向上。とくに被扶養者の受診率をあげる	
広報・周知の回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												受診率(【実績値】41.7% 【目標値】平成30年度：42% 令和元年度：43% 令和2年度：44% 令和3年度：45% 令和4年度：46% 令和5年度：47%)・受診率43%以上								
3	既存	人間ドック	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	ケ	【目的】加入者の健康維持 【概要】疾病の早期発見、早期治療。費用の内上限3万円補助。	ス	各医療機関	4,200	4,350	4,500	4,650	4,800	4,950	健診受診	健診結果で受診勧奨レベル以上になったにもかかわらず（その後の）受診行動に結びついていない 特定保健指導について実施率をあげる	
広報・周知の回数(【実績値】0回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)・受診者数の増加 ・新生物・循環器系疾患等の一人当たり医療費の減少												受診者数(【実績値】110人 【目標値】平成30年度：115人 令和元年度：120人 令和2年度：125人 令和3年度：130人 令和4年度：135人 令和5年度：140人)-								
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ケ	【目的】生活習慣改善による生活習慣病発症予防、健康状態の改善 【概要】積極的支援対象者に6カ月間の保健指導実施。 ・保健指導機関に外部委託。 ・早期から対応するため対象を35歳から実施。	ア,コ	ALSOCあんしんケアサポート	3,663	4,161	4,199	4,427	4,465	4,693	指導参加	特定保健指導について実施率をあげる
広報・周知の回数(【実績値】3回 【目標値】平成30年度：3回 令和元年度：3回 令和2年度：3回 令和3年度：3回 令和4年度：3回 令和5年度：3回)-												実施率(【実績値】10% 【目標値】平成30年度：11% 令和元年度：11% 令和2年度：11% 令和3年度：13% 令和4年度：13% 令和5年度：15%)・肥満でリスクのある被保険者の割合48.1%を維持する（毎年、肥満の割合が増加している現状のため）								
保健指導宣伝	5	既存	育児月刊誌	全て	女性	18～45	被保険者,被扶養者	1	ス	【目的】出産した母親への情報提供 【概要】育児誌 赤ママの配布	ス	赤ちゃんとママ社	40	0	0	0	0	0	出産後の健康、育児情報提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
頒布者数(【実績値】30人 【目標値】平成30年度：20人 令和元年度：0人 令和2年度：0人 令和3年度：0人 令和4年度：0人 令和5年度：0人)・頒布は2年前より新規対象者を増やしていない。3年購読者いなくなり次第終了												効果は個々の事業にて検証(アウトカムは設定されていません)								
8	既存	医療費通知	全て	男女	20～74	被保険者,基準該当者	1	エ	【目的】医療費確認のための情報提供 【概要】個人ポータルサイト「コネクト」で随時閲覧可	ス	ポータルサイト「コネクト」	886	886	886	886	886	886	情報提供	該当なし	
広報・周知の回数(【実績値】6回 【目標値】平成30年度：12回 令和元年度：12回 令和2年度：12回 令和3年度：12回 令和4年度：12回 令和5年度：12回)・個人ポータルサイト「コネクト」で随時閲覧可												閲覧率(【実績値】16.7% 【目標値】平成30年度：40% 令和元年度：50% 令和2年度：60% 令和3年度：70% 令和4年度：80% 令和5年度：90%)閲覧の有効策検討と実施を繰り返す								
7	既存	ジェネリック差額通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,キ	【目的】医療費確認のための情報提供 【概要】年4回、過去3か月間の医療費の状況を通知。事業所経由にて配布	ス	-	-	-	-	-	-	-	情報提供	該当なし	
広報・周知の回数(【実績値】6回 【目標値】平成30年度：12回 令和元年度：12回 令和2年度：12回 令和3年度：12回 令和4年度：12回 令和5年度：12回)・個人ポータルサイト「コネクト」で随時閲覧可												ジェネリック使用割合(【実績値】68.3% 【目標値】平成30年度：69% 令和元年度：70% 令和2年度：71% 令和3年度：72% 令和4年度：73% 令和5年度：74%)前年度集計を上回ること								
												3,218	3,452	3,686	3,920	4,154	4,388			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
疾病予防	3	既存	婦人科健診	全て	女性	30～74	被保険者	1	ケ	【目的】婦人科疾病の早期発見 【概要】婦人科疾病に特化した健診メニュー、全額補助。H29年度対象者333名。	ス	日健文	H29年度から対象者年齢を5歳下げ30歳以上とした。受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	対象者を30歳未満も加え女性被保険者全員とすることを検討する。受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	健診受診	健診結果で受診勧奨レベル以上になったにもかかわらず（その後の）受診行動に結びついていない
	広報・周知の回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-												受診率(【実績値】61.2% 【目標値】平成30年度：63% 令和元年度：66% 令和2年度：69% 令和3年度：72% 令和4年度：75% 令和5年度：78%)・対象者人数に多雨する受診者の割合							
	6	既存	電話健康相談	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ケ	【目的】緊急時・夜間の健康相談 【概要】電話による健康相談、メンタルヘルスカウンセリング、セカンドオピニオン（外部委託）再検査医療機関紹介	ス	ティーバック	H30年度から再検査医療機関紹介のメニューを追加、周知を1回増やす。	H30年度から再検査医療機関紹介のメニューを追加、周知を1回増やす。	H30年度から再検査医療機関紹介のメニューを追加、周知を1回増やす。	H30年度から再検査医療機関紹介のメニューを追加、周知を1回増やす。	H30年度から再検査医療機関紹介のメニューを追加、周知を1回増やす。	H30年度から再検査医療機関紹介のメニューを追加、周知を1回増やす。	心のケア、セカンドオピニオン、再検査医療機関紹介	該当なし
	広報・周知の回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)・窓口を設置していることに意義があり、増減は問題発生のパロメータとして捉えているので、達成度は求めない												相談件数(【実績値】63件 【目標値】平成30年度：70件 令和元年度：70件 令和2年度：70件 令和3年度：70件 令和4年度：70件 令和5年度：70件)-							
	6	既存	メンタル健康相談	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ	【目的】メンタル疾患者の不安解消・重症化予防 【概要】事業主が行っている事業の補助	ス	健康管理室	事業主が行っている事業の補助(医師費用一部負担)	事業主が行っている事業の補助(医師費用一部負担)	事業主が行っている事業の補助(医師費用一部負担)	事業主が行っている事業の補助(医師費用一部負担)	事業主が行っている事業の補助(医師費用一部負担)	事業主が行っている事業の補助(医師費用一部負担)	心のケア	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
広報・周知の回数(【実績値】0回 【目標値】平成30年度：0回 令和元年度：0回 令和2年度：0回 令和3年度：0回 令和4年度：0回 令和5年度：0回)・窓口を設置していることに意義があり、増減は問題発生のパロメータとして捉えているので、達成度は求めない												相談件数(【実績値】12件 【目標値】平成30年度：12件 令和元年度：12件 令和2年度：12件 令和3年度：12件 令和4年度：12件 令和5年度：12件)・窓口を設置していることに意義があり、増減は問題発生のパロメータとして捉えているので、達成度は求めない								
4,5	新規	重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ,エ,ク	HbA1cの値が6.5を超える該当者に個別指導に参加募集	ス	ティーバック	母体企業の了解取り、特定保健指導同様に連名での個別案内をして参加者を増やす。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	受診率向上に、母体企業に申込率の経過報告を実施する。	糖尿病に特化した個人指導	疾病分類では、新生物のほか循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、消化器系疾患が高い 男性の過半数が肥満である	
受診勧奨の人数(【実績値】80人 【目標値】平成30年度：80人 令和元年度：80人 令和2年度：80人 令和3年度：80人 令和4年度：80人 令和5年度：80人) ・プログラム利用者の増 ・HbA1cの値が8.4を超える高リスク者の減少												実施後の受診者数(【実績値】2人 【目標値】平成30年度：2人 令和元年度：3人 令和2年度：4人 令和3年度：5人 令和4年度：6人 令和5年度：7人)・糖尿病からくる人工透析者、重症者が減っている ・プログラム利用者の翌年健診結果の改善が図られている								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他